



高強度異形鉄筋継手

国土交通省新技術開発推進システム
NETIS登録 KT-C00344-VE

Slim Sleeve

現場打ち用 モルタル充填式鉄筋継手

スリムスリーブ BCJ評定-RC0393

日本スプライススリーブ株式会社

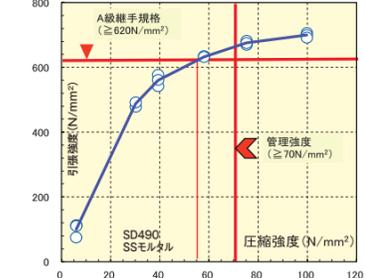
グラウト材

スリムスリーブの性能を最大限に活かす高強度グラウト材「SSモルタル」「SSモルタル120N」

■グラウト材の管理項目

管理事項	SSモルタル(15kg/袋)	SSモルタル120N(25kg/袋)
使用水量 (Kg/袋)	2.1~2.3 (標準2.2)	2.65~3.35 (標準3.0)
練混ぜ時間	約2分間	
フロー値 (mm)	155~235	185~285
J _v ロート値 (秒)	5~15	—
継手部の温度 (°C)	0~60	
可便時間 (練混ぜ後)	約40分	約60分
継手の管理強度 (材齢28日)	円柱供試体 ≥70N/mm ²	立方供試体 ≥77N/mm ²
製造時基準強度 (材齢28日・20°C)	≥80N/mm ²	≥120N/mm ²

■グラウトの圧縮強度と継手強度の関係



グラウト材
SSモルタル
スリムスリーブの性能を確実に発揮
させる施工性抜群の専用グラウト材



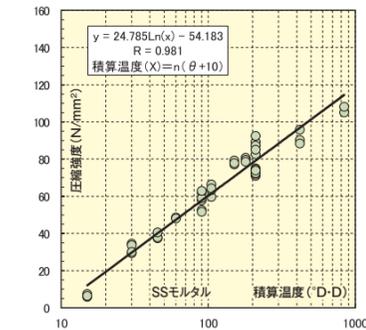
SSモルタル SSモルタル 120N

■SSモルタル及びSSモルタル120Nの試験結果例

充填材	フロー値 ^{*1} (mm)	J _v ロート ^{*2} (秒)	養生 温度 (°C)	凝結時間 (時-分)		圧縮強度 ^{*3} (N/mm ²)				
				始発	終結	材齢 1日	材齢 3日	材齢 7日	材齢 28日	
SSモルタル	205	6.2	5	9-31	13-35	10.1	42.2	56.5	86.3	
				20	4-18	5-55	30.5	55.2	71.1	100
				30	2-23	3-20	49.0	68.5	79.1	101
SSモルタル 120N	249	—	5	9-55	15-00	4.62	39.0	107	129	
				20	7-00	8-25	37.8	82.7	112	136
				30	6-05	7-00	60.4	93.4	128	144

*1 JASS 15 M-103「セルフレベリング材の品質基準」に定めるフロー試験方法に準じ行うものとし、50(内径)×100mm(高さ)の塩ビパイプを用い300×300mm以上の鋼板又はガラス板の上でフローを測定する。
*2 土木学会規程に規定するφ70(上端)×φ14(下端)×392mm(高さ)のロートを用いた充填モルタルの流動性試験方法(JSCE-F541)による。
*3 JIS A 1132「コンクリートの強度試験用供試体の作り方」(供試体寸法 φ50×100mm高さ)およびJIS A 1108「コンクリートの圧縮強度試験方法」による。

■グラウトの積算温度と圧縮強度の関係

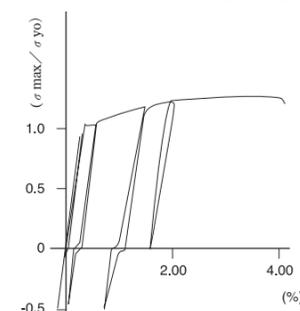


■試験データ

当社が誇る充実した検証システムから「信頼」の継手は生まれます。



弾・塑性域正負繰り返し試験 (SD490 D41)



品質検証システム
(ニスコテクニカルセンター)

充実した品質試験によりさまざまなデータが入手可能です。

■計算方法に対する継手の使用の可否

計算方法	使用箇所	部材種別	A級継手		
			全数継手	半数継手	
ルート① [23][22] 又は壁式構造	a	大ばりの中央部の主筋 小ばりの主筋及びスラブの引張り鉄筋	○	○	
	b	柱とばりの材端部の主筋 壁ばりの主筋及び1階の耐力壁脚部の縦筋	○	○	
	c	その他の鉄筋	○	○	
ルート②	a	大ばりの中央部の主筋 小ばりの主筋及び引張り鉄筋	○	○	
		FA FB FC FD	↓	↓	
	b	耐震設計上、降伏ヒンジが形成される材端部の主筋及び1階の耐力壁脚部の鉄筋	○	○	
		WA, WB WC, WD	○	○	
	c	上記以外の材端部の主筋	○	○	
		FA FB FC FD	○	○	
	d	その他の鉄筋	WA, WB WC, WD	○	○
			FA FB FC FD WA, WB WC, WD	○	○

表中の↓は、○印のついていない下位の部材種別と仮想して計算してある場合には、該当継手を使用してよいことを示す。
建物の設計方法と継手の使用箇所の可否は、「建築物の構造関係技術基準解説書(2015年)」の鉄筋継手性能判定表2.鉄筋継手使用基準の表1及び表2のA級によるものとする。

<https://www.splice.co.jp>

日本スプライススリーブ株式会社

本社
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町17-1 箱崎リージェントビル2階
TEL:03-5642-6120(代) / FAX:03-5642-6150

大阪営業所
〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町4-7-7 平野町イシカワビル3階
TEL:06-6222-1321 / FAX:06-6222-1330

ニスコテクニカルセンター
〒271-0065 千葉県松戸市南花島字向町313-5
TEL:047-308-3681(代) / FAX:047-308-3682

(関連会社) ※ISO認証対象外

ニスコWEST株式会社
〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町4-7-7 平野町イシカワビル3階
TEL:06-6203-5588

SPLICE SLEEVE NORTH AMERICA, INC.
135 N. Old Woodward Ave, Suite 222, Birmingham, MI 48009 U.S.A.
Phone: 1-734-838-0420 / Fax: 1-734-838-0422

SPLICE SLEEVE(S) PTE LTD.
601 Sims Drive #01-06 Pan-1 Complex Singapore 387382
Phone: 65-6738-3655 / Fax: 65-6738-5019



高強度異形鉄筋継手

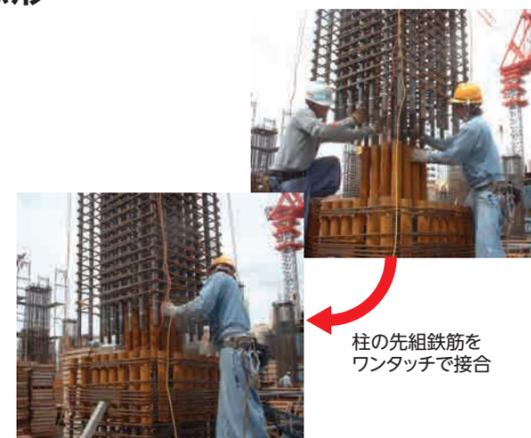
高性能・高品質と工期短縮を実現する
現場打ち用モルタル充填式鉄筋継手

スリムスリーブ

「モルタル充填式鉄筋継手」のパイオニア、日本プライススリーブが提供する現場打ち用鉄筋継手「スリムスリーブ」。省新技術情報提供システムNETISにも登録。あらゆる建築の分野で、RC杭、擁壁、逆巻きなど、土木の分野でも、工期短縮、省力化を実現し、30数年の実績と信頼を評価され、鉄筋継手としてはいち早く国土交通トータルコストの削減に貢献します。

「施工しやすさ」を突き詰めた継手の理想形

- 従来からのモルタル充填式継手より、細く、短くすることにより、使いやすくなりました。
- モルタル式充填継手なので、施工誤差を吸収しやすく、現場で鉄筋芯が合わない時でも、容易に接合できます。
- 芯鉄筋や多段配筋などの複数鉄筋もワンタッチで接合できます。
- 両端が固定された鉄筋の接合が可能です。
- 鉄筋の突きつけ間隔は、最大40mm(建築向け)まで許容できます。
- ねじ節鉄筋を含むあらゆる異形鉄筋の接合が可能です。
- 接合鉄筋の端部加工や精密切断が不要です。
- 継手の仮固定ができます。
- 接合部に残留伸びや縮みが生じません。
- エポキシ塗布のスリーブも対応可能です。



名称・寸法・グラウト量目安

■ 建築向け:A級性能 (中央あき最大40mm*1)

SSモルタル SSMモルタル 120N

スリーブ呼び名	接合鉄筋	スリーブ長さ (mm)	スリーブ径 (mm)		固定用ボルト位置 (C) (mm)	リバーストップ (RS) 位置 (D) (mm)	鉄筋埋込長さ*1 (mm)	グラウト量の目安 (本/kg袋)	
			外径 (A)	内径 (B)				SSM (15kg袋)	SSM120N (25kg袋)
S5U	D16 (D10, D13)	240	37	22	54	115	100~120	53	80
S6U	D19 (D13, D16)	270	40	25	54	130	115~135	42	64
S7U	D22 (D16, D19)	300	44	28	73	145	130~150	34	51
S8U	D25 (D19, D22)	330	48	31	70	160	145~165	31	48
S9U	D29 (D22, D25)	370	54	35	75	180	165~185	24	36
S10U	D32 (D25, D29)	410	59	39	100	200	185~205	18	27
S11U	D35 (D29, D32)	450	65	43	100	220	205~225	14	21
S12U	D38 (D32, D35)	490	71	47	100	240	225~245	10	16
S13U	D41 (D35, D38)	550	76	51	130	270	255~275	8	12
S16U	D51 (D38, D41)	710	92	62	160	350	335~355	5	7

*1 鉄筋の突きつけ間隔を最大40mmとした場合
 [注] ()は径違いの接合の鉄筋径を示します。
 ・径違いの場合(2径差まで):呼び名の大きい鉄筋径にスリーブのサイズを合わせてください。ただし、ボルト長さとしールの内径が変わりますのでご注意ください。
 ・施工を容易にする接合:接合鉄筋に対し2サイズまで大きいスリーブで接合できます。

■ 土木向け:SA級性能 (中央あき最大30mm*2)

スリーブ呼び名	接合鉄筋	スリーブ長さ (mm)	スリーブ径 (mm)		固定用ボルト位置 (C) (mm)	リバーストップ (RS) 位置 (D) (mm)	鉄筋埋込長さ*2 (mm)	グラウト量の目安 (本/kg袋)	
			外径 (A)	内径 (B)				SSM (15kg袋)	SSM120N (25kg袋)
S5U	D16 (D10, D13)	240	37	22	54	115	105~120	53	80
S6U	D19 (D13, D16)	270	40	25	54	130	120~135	42	64
S7U	D22 (D16, D19)	300	44	28	73	145	135~150	34	51
S8U	D25 (D19, D22)	330	48	31	70	160	150~165	31	48
S9U	D29 (D22, D25)	370	54	35	75	180	170~185	24	36
S10U	D32 (D25, D29)	410	59	39	100	200	190~205	18	27
S11U	D35 (D29, D32)	450	65	43	100	220	210~225	14	21
S12U	D38 (D32, D35)	490	71	47	100	240	230~245	10	16
S13U	D41 (D35, D38)	550	76	51	130	270	260~275	8	12
S16U	D51 (D38, D41)	710	92	62	160	350	340~355	5	7

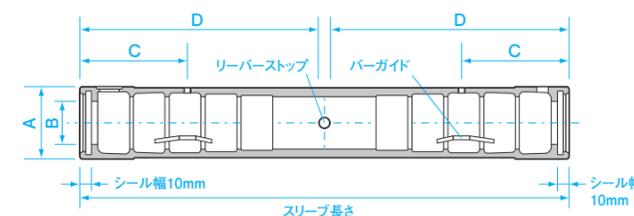
*2 鉄筋の突きつけ間隔を最大30mmとした場合
 [注] は建築向けと同じ

■ 性能

使用鉄筋	種類	SD295A SD295B SD345 SD390 SD490*1
	呼び名	D10 D13 D16 D19 D22 D25 D29 D32 D35 D38 D41 D51
	形状	JIS G 3112 (鉄筋コンクリート用棒鋼) に適合した異形棒鋼
異径間継手	同鋼種の場合2径差まで、異鋼種の場合SD390以下は2径差まで、SD490は1径差までに適用する	
異鋼種間継手	1鋼種違いまでに適用する	

*1. SD490用は、D16以上

■ S5U~S16U断面図



施工例

